



地域の社会状況に応じた 住民要望に応える技術の開発促進・普及

ユニバーサルデザイン体験施設

事務所構内に歩行者の安全と歩きやすさなどを重視・優先したユニバーサルデザインの各種交通付帯施設を施工して誰でも歩行や車いす体験等が行えるように常設しています。

■ユニバーサルデザインとは…

「すべての人にとってできる限り利用可能であるように製品・建物・環境をデザインすることであり、デザイン変更や特別仕様のデザインが必要なものではない」と定義されています。

ユニバーサル体験施設体験として、平成29年度においては、16団体・400名の方が体験しました。また、平成17年度の施設完成からのべ累計として265団体・4881名の方が体験しています。



Aゾーン ユニバーサルデザインによる歩行体験ゾーン

Dゾーン コンクリート舗装部の比較体験ゾーン

Bゾーン 横断歩道部の比較体験ゾーン

Eゾーン 舗装材料の比較体験ゾーン

Cゾーン 従来型アスファルト舗装部のバリア体験ゾーン

Fゾーン 坂路・歩道橋上での比較体験ゾーン



車いす体験 (Fゾーン)



白杖体験 (Eゾーン)



土木構造物実習施設（施工不良等の発見及び防止）

公共工事の品質確保に取り組むために、各種土木構造物の施工不良や設計ミスなどを再現したモデルと正常なモデルを実物大モデルとして設置しました。一般の方にも「見て・触れて」構造物の仕組みや構造を理解していただけます。

～見て・触れて・考える～

土木構造物実習施設



土木構造物実習施設体験として、平成29年度においては、合計10団体・210名の方が体験、内訳として、自治体など5団体・111名、企業・個人など5団体・99名が体験しました。また、平成18年度の施設完成から、のべ累計として140団体・2280名の方が体験しています。

ユニバーサルデザイン体験施設 及び 土木構造物実習施設 の申し込みについて

事前に簡単な申し込みを頂ければ体験可能となっています。
(企業等の職員の研修や学校における総合的な学習の場としても活用いただけます。)

申込用紙の入手は、下記のいずれかとなります。

- ① 四国技術事務所品質調査課にお越しいただき入手いただく方法。
- ② 四国技術事務所品質調査課宛に、返信先を記載した返信用封筒を同封した封書により請求いただく方法。
送付先：〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼1545
- ③ 四国技術事務所ホームページからダウンロードしていただく方法。
<http://www.skr.mlit.go.jp/yongi/>

申込書の送付先

Mail skr-yongia77@mlit.go.jp **FAX** 087-845-3998

施設の利用や申し込み等に関するお問い合わせ

TEL 087-845-3135 担当：品質調査課までご連絡ください。



計画研修の開催

業務の多様化、技術革新の進展などに対応すべく業務遂行能力の向上を目的に四国地方整備局職員および地方自治体などの職員に対し研修を実施します。(平成29年度は、669人の参加がありました。うち四国内の4県庁職員32人、11市から職員21人、6町から18人の参加がありました。)

平成30年度 四国地方整備局 計画研修実施予定表

| 平成30年 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | |
|-------|------|--------------|--------------------|------------|----|-----------|---|----------------|---------|-------|-------------|-------------|--------|-------|-------------------|------------|-------|-------------------|----|---------|------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|--|
| 4月 | 日 | 運輸合同 | | ★新規採用職員 | | | | 技術職員 | 土 | 日 | ★品確法(総合評価) | 土 | 日 | 初任監督員 | 土 | 祝日 | 振替 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5月 | | 祝日 | 祝日 | 祝日 | 日 | | | | | | 土 | 日 | 監督検査技術 | 土 | 日 | ★管理職Ⅱ | ★道路管理 | 土 | 日 | ★災害査定技術 | 設計積算技術 | | | | | | | | | | | |
| 6月 | 設計積算 | 土 | 日 | 運輸合同 | | ★初任係長 | | 土 | 日 | ★土地収用 | ※2 建築技術(設計) | | 土 | 日 | 道路計画・分析 | 土 | 日 | 道路構造物管理実務者(橋梁初級Ⅰ) | 土 | 日 | ※1 初級課程営繕科 | | | | | | | | | | | |
| 7月 | 日 | ★TEC-FORCE隊員 | | ※1 初級課程営繕科 | | 土 | 日 | 土地評価・補償金積算等 | 土 | 日 | 祝日 | 管内技術研究会(予定) | 土 | 日 | 道路構造物管理実務者(橋梁初級Ⅱ) | 土 | 日 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8月 | | | 土 | 日 | | | | | | 祝日 | 日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9月 | 土 | 日 | 道路構造物管理実務者(トンネル初級) | 土 | 日 | | | 中堅事務 | 土 | 日 | 祝日 | 基礎技術 | 土 | 祝日 | 振替 | ★コミュニケーション | 土 | 日 | | | | | | | | | | | | | | |
| 10月 | 初級事務 | 初級技術 | 土 | 日 | 祝日 | ★総合マネジメント | 土 | 日 | ★建設産業行政 | 土 | 日 | ★まちづくり・景観 | 土 | 日 | 河川技術 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11月 | 河川技術 | 祝日 | 日 | ★総合計画 | | 土 | 日 | ★維持管理技術(河川・ダム) | 土 | 日 | ★管理職Ⅰ | 祝日 | 土 | 日 | ★港湾行政実務者 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12月 | 土 | 日 | | | | | | 法制基礎 | 土 | 日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成31年 | 祝日 | 休日 | 休日 | 土 | 日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1月 | | 土 | 日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2月 | | 土 | 日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3月 | | 土 | 日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

共通コース 事務コース 技術コース

★印は事務官、技官ともに参加可

赤字は港湾職員も併せて対象とする研修

(※1関東地整実施コース 2コース ・初級課程営繕科・建築実務(中堅))

(※2九州地整実施コース 1コース ・建築技術(設計))



新規採用職員研修



初級技術研修



土砂災害対応研修



維持管理技術(河川・ダム)研修



初任係長研修



道路構造物管理実務者研修(橋梁初級Ⅰ)



基礎技術研修

四国地方整備局若手職員の基礎技術力向上のため、四国技術事務所では、簡単に参加できる短期の基礎技術研修を平成26年度から実施しており、その研修カリキュラムについては、体験研修や現場訓練などを主とし基礎的な技術習得を重視したものとしています。

平成29年度については、「コンクリート応用[構造物製作]」「アスファルト」「水文」「環境教育」「CAD基礎」「CAD応用」の6研修(1泊2日)を延べ76名の参加者により実施しました。

平成30年度においては、「地質・土質」「水質」「測量」「施工管理」「CAD基礎」の5研修を実施する予定です。

□コンクリート応用[構造物製作] 13名

コンクリート構造物(逆T擁壁)施工に係わる一連の施工体験(鉄筋配筋・型枠組立・コンクリート受入時検査・打設・仕上げ・養生・強度確認・脱型確認・収縮低減剤塗布)を実施。



□アスファルト 10名

アスファルト舗装に関する概論や設計・施工・管理に関する基礎を学習するとともに、ホイールトラッキング試験の供試体作成や、アスファルトプラントの見学、品質確認と敷均・転圧の体験、現道での舗装点検実習を実施。



□水文 8名

河川計画の検討で重要な水文観測に関する概論や、H-Q作成の基礎知識を学習するとともに、観測装置(雨量・水位・流量)を使用した仕組みや保守手法の確認、流量観測(低水流観・高水流観)の体験を実施。



□環境教育 16名

環境教育での各種スキル(内容を判り易く説明・説明時の技術向上・アイスブレイク・振り返りの重要性)向上の為、プロジェクトWETを利用し体験・気づき・学び・行動につなげる環境教育を実施。



□CAD基礎 16名

CADの画面構成や製図基準(案)の理解とともに、作図、保存、印刷などの基本操作や、写真や表計算ソフトからのデータ活用方法を習得することで、業務に活用可能とするカリキュラムを実施。



□CAD応用 13名

CAD経験者を対象に、土木製図データ作成における技術基準「CAD製図基準(案)」を確認するとともに、設計成果図面から発注図面や変更指示図、事業説明資料を作成するカリキュラムを実施。

